

湖南の民話

乳地蔵

～ちぢぞう～

昔、館村のある嫁っこがややこなしだが乳がちっとも出ないのでややは痩せ、毎日神仏に祈っていた。ある朝、五輪塚の清水を飲もうとすると砂を持ち上げ湧き出ているのを見て「こんなふうに出たらよかんべな」と思ったその夜、嫁っこの夢枕に地蔵様が二体現れ「清水のほとりに埋められてしまったが早く現世に戻りたい」とお告げがあり、亭主と掘り出し、清水をかけるとたちまち乳が出るようになり、ややは元気に育った。



～おしょうたん～

和尚坦



中地村は毎年川が氾濫し家や耕地が流され困っていた。ある年のこと、その年も毎日雨が降り続き村は今にも流されそうになった。「これは水神様の怒りだ、だれか人柱になって鎮めるしかない」といったが誰も名乗り出ない。そのとき旅の修行僧が「私が人柱になって村人を救わん」とお経を唱えながら濁流の中に身を沈めた。川の水かさは減り向きを変え村は救われた。

布引山のカツラ

～ぬのびきやまのかつら～

昔、赤津の人たちは竹細工や年貢に布引山の竹を伐り山から沢を引き下ろすのだがこの沢には大きなカツラの木があり邪魔になっていた。ある木こりがこのカツラを伐りにかかった。ところが一日では伐れず明日も伐ることにした。その夜村中に気味悪いうめき声のようなものが夜通し聞こえたが何かわからなかった。次の朝、木こりがカツラの木を伐ろうと行ったら「あー」と驚いた。昨日伐った跡が元通りになっていた。それ以来カツラの木には誰も刃物を向けなかった。



◎参考文献一猪苗代湖畔の民話（橋本 武 著）

湖南町へのアクセス

【参考：湖南行政センターまで】

自動車での交通アクセス

郡山駅方面から

県道6号(郡山湖南線)を会津若松方面へ進み、国道294号交差点(郡山市湖南町三代)の信号を会津若松方面へ直進3km。

会津若松方面から

国道49号を石山交差点(会津若松市一箕町金城)で国道294号へ分岐し、白河方面へ。石山交差点から約15km。

鉄道およびバスでのアクセス

JR

JR磐越西線を上戸駅で下車。

会津バス

勝田内=上戸(駅)線に約40分乗車し、「行政センター前」で下車。



民話を体験するなら

要予約

ご予約いただければ、下記の方より「民話を聴く体験」が出来ます。

- ・ 湖南民俗研究所 代表：橋本 勝雄 TEL 024-982-2673
- ・ ぐるっと湖南伝承会 代表：大内 紀男 TEL 090-2796-4696
- ・ 湖南民話の会 代表：佐藤 加津子 TEL 024-982-3037
- ・ 民話のふるさと 湖南継承会 代表：西田 忍 TEL 024-983-2058
- ・ クラブよろず湖南 代表：渡部 キミ子 TEL 024-983-2051

お気軽にお電話ください。

お問い合わせ

郡山市観光協会

・ 民話・史跡文化財等

～ 湖南公民館 ～

TEL 024-983-2543

・ 景勝地等観光について

～ 郡山市湖南町観光協会 ～

(湖南町商工会内)

TEL 024-983-2117

<http://www.kanko-koriyama.gr.jp/>

発行：民話の里づくり実行委員会

〒963-1633

福島県郡山市湖南町福良字家老9390-4

湖南公民館内 TEL 024-983-2543



民話の里 湖南町



ようこそ
民話の里
湖南町へ

湖南民話マップ



乳地蔵





湖南の民話

ここには、
ゆったり文化
ニッポンの原風景がある。

湖南には二百以上の民話を受け継がれています。
ながい歴史と自然豊かな風土に育まれた“民話”は
不思議で、どこか懐かしく、誰しもの郷愁を呼び起こす
ものです。ずっと昔に発信された物語を、今、
受け取ってみたいはいかがですか。



地図の見方

- 赤枠内=地名
- 緑枠内=観光名所や峠名等
- 紫枠内=神社仏閣名等
- 公的施設名称と場所

湖南行政センターからの距離

青松浜: 3.5km	中野: 5km	三代: 3km
布引高原: 12km	舟津: 6km	白河: 47km
会津若松: 32km	猪苗代: 24km	郡山駅: 33km
赤津: 2.5km	馬入峠: 9km	JR郡山駅より車で50分
天栄・大平(国道118): 14km		

294: 国道 **P**: 駐車場
6: 県道 **T**: トイレ
: 粘土像 : 案内板
: 駐在所 : 郵便局



至 猪苗代方面
至 磐梯熱海方面
至 国道49号

至 郡山市街

至 白河・天栄・長沼

至 天栄・大平
至 国道118号